# 上高井教育会報

第227号
発行所　上高井教育会
発行人　上高井教育会理事長　児玉明代
編集人　会報編集委員長　宮坂ゆかり
印刷所　須坂新聞社

## 「くぬぎの時間」の取組

須坂小学校

須坂小学校は、信州型コミュニティースクールの一環として地域の方に講師となっていただく活動を行っています。ボランティアによる「紙芝居」や「読み聞かせ」などの他にも、地域性を活かし、近くのお店や施設の方に来校して教えていただく機会も多くあります。

中でも総合的な学習の時間に行っている「くぬぎの時間」は、本校の特色の一つです。これは、三年生から六年生が、希望により、縦割りの五つの講座に分かれて行うものです。

実施に当たっては、まず、児童・職員へのアンケートをもとに、講座開設に向けて公民館担当者と打ち合わせをし、開設講座の決定をします。

次にコミュニティースクール運営委員会に講座講師代表者も来ていただき、開講に向けての打ち合わせを行います。

活動内容は子どもたちの希望を元に、講座担当者と担当職員で話し合いながら決定していきます。子どもたちの希望をできるだけ叶えるように講師の方がいろいろなアイディアを出してくださいます。各講座には、公民館の担当者が一人ずつ入り、講師との調整を請け負ってくださいます。

くぬぎ祭

「くぬぎの時間」は、講座の活動時間が二時間続きで七回の十四時間、振り返りの時間が前後期に一時間ずつ、全校の前で発表する「くぬぎ祭」に三時間で、十九時間です。

今年度の開設講座は、

①地域の方と昔の遊びに挑戦

講師の方に、「竹とんぼ」「水鉄砲」など、自然の物や身近な物を使った遊び道具の作り方や遊び方を教わります。

②地域の方と郷土料理に挑戦

自分たちの住む地域に伝わる「おやき」や「ひんのべ」などの郷土料理を教えていただき、実際に作ります。また、自分たちで郷土料理について調べることもします。

③かぐら・かさぼこに挑戦

地域の保存会の方に、神楽を教えていただき、七月の祇園祭の時は一緒に行列に参加し演奏します。また、笠鉾会館に行っての見学に行き、笠鉾についての学習も行います。

かぐら・かさぼこ

④鎌田山や自然を楽しもう

学校のすぐ隣にある鎌田山に登り、その周辺一帯の自然について講師の方に詳しく教えていただき、採集したものをまとめます。

⑤福祉体験をしよう

いろいろな福祉体験に加え、今年は市立図書館の館長さんに読み聞かせのしかたを教えていただき、施設を訪問して読み聞かせを行いました。

十月には、一年間の活動のまとめとして「くぬぎ祭」を行います。この日は全校参観日としてあります。お世話になった講師の先生方もお招きし、全校の前で今までの活動について発表します。一、二年生も参観することで、やってみたい講座を考えるよい機会となっています。

福祉体験

地域の講師の方に教えていただくことで、学校では学ぶことのできない地域の自然や文化にふれることができるだけでなく、人と関わることを学ぶ機会にもなっています。複数の講師の方がいることで、安全面の確保はもちろん、困った時にも相談に乗ってもらえたり丁寧に教えてもらえたりするので、子どもたちも安心して活動できています。

「くぬぎの時間」は、これからも須坂小と地域を結ぶ大切な活動として、継続・発展させていきたいと思います。（須山　均）

## 教育会だより

7・28　教育会夏期講演会
　○講師　荻原健司先生「人を育てる」
7・31～8・3　同好会夏期講座
8・17～18　日連教長崎大会
22　教研推進委員会⑦代表者会
29　教育七団体代表者会
9・1　教研推進委員会⑧
2　第64回上高井教研集会
7　研究推進委員会④
8　同好会⑤
13　理事会④
22　総会（代議員会）④
10・3　教研推進委員会⑨
5　研究推進委員会⑤
11　道徳研究協議会（井上小）
13　同好会⑥
14～15　郡市科学作品展
18　教育会会計中間監査会
28　研究推進委員会⑥
28～29　あゆみ展・学芸展
11・9　理事会⑥　研究推進委員会⑦
10　同好会⑦
15　公開研究会
　○中心講師　伏木久始先生
　会場　東中　社会科
　数学（墨坂中）、理科（日野小）
　生活総合（粟ガ丘小）、音楽（須坂小）
　図工美術（高山中）、体育（粟ガ丘小）
　技術家庭（小布施中）、英語（常盤中）
　道徳（粟ガ丘小）、特別支援（日滝小）
　健康教育・教育会館
　人権教育（小布施中）
17　県国語教育研究協議会上高井大会（井小・相森中）
8　信教全県研究下高井大会
18　信州「教育の日」茅野大会
28　総会⑤
12・1　同好会⑧
5　研究推進委員会⑧
9　教研推進委員会
20　上高井教育会報第227号発行
21　研究委員長会③



## 火ばち談義

### 「地域とのつながり」

石川　智広

六年松組は、一学期から学級で井上地域の紹介パンフレットづくりをしています。子どもたちは、本やインターネットで地域のことを調べましたが、詳しいことが分かりませんでした。そこで、井上氏山城跡と居館址、井上氏墳墓、小坂神社、福島の大幟、アスザックフーズ、毘沙門天堂に実際に行って調べることにしました。

私は須坂に来て二年目でしたが、これらの場所について説明できるほどの知識がなく、どこにあるのかさえよく分かりませんでした。そんなとき、PTAのみなさんとの懇親会がありました。すると、保護者の方から、「山城の登山口は西側から登るといいよ」「山城の麓に枕状溶岩という珍しいものがあるんだよ」など、たくさんのことを教えていただき、予習をして山城跡に見学に行くことができました。

また、下見で毘沙門天堂の場所を探しに行った時には、困っている様子の私を見て、地域の方がいろいろなことを教えてくださいました。毘沙門天堂は普段鍵がかかっていて、祠の中を見ることができないということも分かりました。そのことを地域公民館の館長さんに相談したところ、祠の鍵を開け、毘沙門天堂について説明してくださる方を紹介してくださいました。

福島の大幟も、誰にお願いすればいいのか分からず、地域公民館の館長さんに相談したところ、福島地域のみなさんが協力してくださることになり、体育館で本物の大幟を見ることができました。普段は見ることができない大幟ですが、今回特別に持ってきてくださったのです。福島の方に「この大幟をいつかこの子どもたちに建ててほしい。それは大変なことだけど、声をあげ、守っていってほしい。たくさんの子どもに本物を見てもらえてよかった。」とおっしゃっていただきました。

私は今まで地域の方と関わることをあまりしてきませんでした。しかし、今回たくさんの方に助けていただき、子どもたちも多くを学ぶことができ、地域の方の思いも知ることができました。地域の方とのつながりを通して私自身の心も温かくなりました。勇気を出して地域の中に一歩踏み出すことの大切さを学んだこの一年でした。（井上小）

## 「出会いと成長」

宮澤　理恵

今年もあっという間に季節が過ぎ、気がつけば冬の足音が聞こえる季節となりました。そんな忙しく移りゆく時の中で、生徒たちは沢山の人々に出会い、日々多くのものを学び、成長しています。

一年前の生徒たちを思い出し現在の彼らと比べてみると、生徒一人ひとりが心身共に大きく成長していることに気がつき、驚かされます。

二年生は四月から後輩ができ、夏以降は三年生から部活動や校友会活動を引き継ぎました。二年生の半分を過ぎたこの頃は責任も増え、すっかり先輩の顔になりました。

三年生は部活動を引退し、文化祭を成功に導き、最近は校友会活動も徐々に後輩へ引き継ぎを終えて、いよいよ自分の夢に向かって歩き出そうと、高校受験へ向けて本格的に気合いを入れ始めています。

今年新しく中学生になった一年生は、入学当初の緊張が解け、中学校の生活にも慣れ、新たな仲間たちと賑やかな毎日を過ごしています。

このような生徒たちの小さな成長の積み重ねを感じることができる日々は、わくわくどきどきしながらも、とても嬉しい毎日です。そして、やはり教員はとてもやりがいのある素晴らしい職業だと感じています。

今日、本校ではバレーボール大会が開催され、クラスの仲間たちと助け合い、協力し合いながら力を尽くしている眩しい生徒たちの姿がありました。これまでの部活動や委員会活動等のつながりから、他のクラスの友達のことも応援し合っている温かな姿を見て、改めて人とのつながり、出会いは大切なものだと感じました。

生徒たちは家族の方々を始め、学校の友達や先生方等、これまで彼らが出会ってきた人々から色々なことを感じ、成長してきたと思います。そして、これからはもっと広い世界で、より多くの人々に出会い、自分を磨き、たくましく育っていって欲しいと思います。

生徒たちの未来に沢山の素敵な出会いが訪れることを願いながら、自分も彼らの素敵な出会いの中の一人となれることを願い、これからも輝く彼らの将来を見守り、支えていける存在でありたいと思います。（常盤中）

カット　旭ケ丘小　花形敏郎

## 編集後記

平成二十九年度会報二二七号を発行し、無事にお届けすることができました。

今号は各学校で行われた音楽会や学校祭などの学校行事や、地域に密着した学習活動の様子を中心に取り上げました。元気よく活動に取り組む姿や、今にも歌声が聞こえてくる音楽会の写真が見所となっています。

誌面作成に当たり、お忙しい中にも関わらずご協力頂いた皆様には、心より感謝申し上げます。会員の皆様に楽しんでいただけるよう、会誌・会報を制作していきますので、これからも宜しくお願い申し上げます。（小林）